

子ども学フォーラム ダンス/ムーヴメントセラピーから 子どもの発育・発達を考える

おとなは、子どもの発育・発達にいかなる影響を及ぼすのでしょうか。例えば、子どもの自立や自律性への影響が考えられます。受容的な援助や関係性は、子どもの自立や自律性を促進すると考えられていますが、受容という名の暗黙の支配になるなど、おとながその構えを維持することは容易くありません。あるいは、子どもに対するおとなの期待や求めの暗黙的な影響です。おとなにとっては時に無自覚で、子どもの自尊心を高めることもあれば、過度な期待や求めとなって子どもの発育・発達を萎縮させることもあります。従って、おとなは自らの援助や関係性や期待や求めなどについて省察を深める必要がありますが、おとな自身の心身のありようがその省察を阻んだり歪めたりします。ダンス/ムーヴメントセラピーの体験を通して、援助者としてのおとなの思考の志向性や実践のあり方を検討していきます。

ワークショップ 私たちの‘内なる他者’の影響を辿る

子どもたちが今まさにそうであるように、私たち支援者自身も成長過程において出会った養育者や重要な他者から様々な影響を受けています。人生最早期からのそうした体験は、言語発達以前より生じていて、感覚的体験として記憶されていることが多いゆえに、私たちが意識せずして反応として表れる場合があり、意図しない暗黙のメッセージを他者に向かって伝えてしまうことも起こりえます。

本ワークショップではこの瞬間の出会いを巡り、‘からだの反応’にフォーカスし、‘動きによるもの思い’を試み、‘内なる他者の記憶’を辿ってみたいと思います。日ごろの子どもたちとのかわりをより深く見つめる機会になればと願っています。



プロフィール

神宮 京子

(じんぐうきょうこ)

ニューヨーク市立大学ハンター・カレッジ
大学院にてダンス/ムーヴメントセラピー
を学び、1996年卒業。アメリカ・ダンスセラピー

協会認定ダンス/ムーヴメントセラピスト。日本ダンス・セラピー
協会認定ダンスセラピスト。日本集団精神療学会認定グルー
プサイコセラピスト。特定医療法人群馬会群馬病院勤務。精神
科、母子領域専門。DMT Lab主催(<http://dmtlab.net/>)



2017年12月16日(土)

午後1時～午後4時

受付開始 午後0時30分

奈良女子大学佐保会館

講師

神宮 京子 氏

群馬病院

ダンス/ムーヴメントセラピスト

※定員は25名です(申し込み順)。お名前、所属(あれば)、連絡先(電話番号またはメールアドレス)をご記入の上、E-mailおよびFaxで下記までお申込みください。定員充足次第、申し込みを締め切ります。

※ご参加は、大人・学生に限ります。心身に何らかの問題をお持ちの方は事前にご相談ください。

※軽い運動のできる服装をご用意ください。

対象

医療・福祉・教育・保育などの現場で援助職にある方、保育者、教員、一般

参加費

無料

お問い合わせ先

奈良女子大学地域貢献事業「次世代自立支援の子ども学」事務局(代表: 本山方子)

電話/FAX 0742-20-3957

メール kodomo-gaku@cc.nara-wu.ac.jp

奈良女子大学地域貢献事業「次世代自立支援の子ども学」
奈良女子大学ダンスセラピー実践課題検討会・成瀬研究室

後援 奈良県、奈良市、奈良県教育委員会、奈良市教育委員会、奈良女子大学附属学校部

